

水道の配管材など、水回りの資材全般を取り扱っているカラヤ株式会社小浜水道機材営業所に務める赤間さん。「地元で就職をしたい」と考え、高校を卒業後、同社に入社。商品の配達や営業のために、毎日若狭管内をトラックで走り回っています。取り扱う資機材の種類が多いため、「入社当初は商品について聞かれても答えられず、ふがいなさを感じていました」と振り返り、「今でも現場を直接見ることで、商品の使い方を覚えるようにしています」と熱く語ります。

地域の暮らしを支える存在に

中学・高校と吹奏楽部に所属し、現在もその延長でバンド活動に取り組んでおり、「楽器の演奏は気分転換になり、活力が生まれます。日常生活に欠かせないもの」と目を細めます。「給排水設備は建物にとって重要な部分。責任も伴いますが、その一端を担えることを誇りに思っています」と話す赤間さん。「今後はより良い商品を提案できるように本格的に営業活動に挑戦し、見えないところで皆さんの暮らしを支えられるような存在になりたいです」と意欲をみせました。



勤務先 カラヤ株式会社 小浜水道機材営業所
あかま こうすけ
赤間 恒介 さん
(23歳・大湊)

小浜中学校女子卓球部の道根さん。小学生のころはテニス教室に通っていましたが、中学校からラケットを持ち替え、卓球の練習に打ち込みます。8月に新体制に移行してからは、キャプテンとして、2年生8人、1年生13人の部を引っ張っています。部では、「応援されるチーム」になるために、「チームのために自分が変わる」ことを目標に掲げており、道根さん自身も「意識して声を出すようになり、チーム全体を見るようになった」と自らの変化を口にします。

チームのために自分が変わる

「キャプテンとしてのプレッシャーを感じている」と話す道根さん。一方で、チームをまとめる立場として、「あいさつや礼儀、率先して行動するなど基本が徹底できるチームにしたい」と意欲をみせます。顧問の門野先生も、「何事も自分でしっかりと考え、部員と協力しながらチームづくりを進めてくれています」と目を細めます。秋に行われる新人戦への意気込みを尋ねると、「技術面だけでなく、チーム力も他校に負けないようにしたいです」と笑顔で答えてくれました。



女子卓球部 キャプテン
みちね ななみ
道根 七海 さん
(小浜中学校2年生)

復活した郷土芸能次代に

関西地方を中心に、地域によって異なる特色を持って伝わる「六斎念仏」。市内では、中名田、口名田、国富地区などの集落に伝わっています。和多田区の「和多田六斎念仏」は昭和41年、市の無形民俗文化財に指定されましたが、担い手不足などの理由で、当時の保存会が解散。昭和60年に指定を解除され、長く中断していました。大江さんは、「祖先が残した貴重な郷土芸能をなくしてはいけない」と、平成11年に有志が新たに結成した「和多田六斎念仏保存会」の発足時から

会員で、現在は4代目会長を務めます。「稽古や話し合いは、世代を越えたコミュニケーションの場にもなっています」と大江さんが語る通り、保存会には30代から70代と幅広い世代の19人が所属。毎年8月に区内のお寺や地藏堂での奉納を続けた努力が実り、今年5月、市の無形民俗文化財に復活が指定されました。「指定はありがたいと同時に、責任も感じている。これからも芸能の腕を磨き続け、伝統を継承していきたいです」と意気込みを話してくれました。



和多田六斎念仏保存会 会長
おおえ よしたろう
大江 義太郎 さん
(68歳・和多田)

雪辱たし全国へ上位入賞狙う

平板、巻尺、アリダード(測斜儀)などの器具を用いて、地形の測量を行う「平板測量」。地域研究部では、地域創造科1〜3年生の男女7人がこの平板測量に取り組んでおり、3人1組で測量にかかる作業時間や面積の精度などで優秀を競う大会に向け、練習を重ねています。部長を務める奥城くんは、クラスメイトで、互いに声を掛け合って入部した古井海羅くん、澤田晃輔くんとチームを組み、今年7月の県大会で見事優勝。10月に鹿児島県で開催さ

れる全国大会に出場を決めました。「昨年は県大会で最下位と、悔しい思いをしました」と語る奥城くん。その悔しさをばねに日々努力を重ね、「今年は雪辱を果たせてうれしい。全国大会でも上位に入賞できるように頑張ります」と、自信と熱意に満ちた眼で意気込んでいます。3年生になり、就職活動も頑張っているという奥城くんは、今後の目標を尋ねると、「これまで勉強してきた土木の知識を生かせる仕事に就きたいです」と話してくれました。



地域研究部 部長
おくしろ ゆうじ
奥城 雄士 くん
(若狭東高校3年生)

エンゼルライン

久須夜ヶ岳を登るドライブウェイ、エンゼルライン。その頂上は、若狭湾を囲み、京都につながる山々を一望できる小浜随一の眺望スポットです。

ここから見る広大な景色には、浪漫を感じずにはいられません。「その昔、鯖街道を通して初めて小浜で海を見た人は、どんな感動を味わったのだろう」、「どんな思いを抱きながら、若狭湾を出て海を渡っていったのだろう」と考えると、ワクワクします。

ドライブ以外にも、サイクリングや、蘇洞門へ下る登山道の散策など、楽しみ方はさまざまです。

冬季は残念ながら閉鎖されてしまいますが、季節によっても変化する小浜の表情を楽しみに、ぜひ、さまざまな時期に訪れてみてください。



【アクセス】
 小浜市泊（エンゼルライン山頂駐車場）
 JR小浜駅から車で30分
 小浜ICから車で30分

【文と写真】
 地域おこし協力隊 ハシモト



みんなで国体障スポ

緊張感と迫力会場で体感を

若狭東高校ウエイトリフティング部に所属する岩谷くんは、1年生ながら今年の北信越大会で3位に入賞。福井国体には、少年男子の部・105kg級で出場します。

岩谷くんが競技を始めたのは、小学6年生のころ。3人いる兄たちも、かつてウエイトリフティングで国体に出場した「ウエリフ一家」。競技関係者に誘われて体験教室に顔を出して以来、ひたむきに競技に打ち込んできました。

フティングは、努力次第でどんな実力を伸ばせる競技。努力を重ねて記録が伸びたとき、成長を実感できるのが楽しいです」と話します。

「バーベルを持ち上げる前に気合いを入れる大声や、持ち上げる瞬間の緊張感、地面に下ろした時の振動。単に映像で見るよりも、会場でそれらを体感してもらう方が、より迫力があります」と見所を語る岩谷くん。

最後に、国体に向けて、「楽しむ心を忘れずに、全力を出しきりたいです」と、意気込みを語ってくれました。



ウエイトリフティング競技 国体出場選手
 いわたに うめき
岩谷 梅輝 くん
 (若狭東高校1年生)

アート&カルチャー

先代の教えを守り伝えていきたい

市内外の会員12人が所属しているやよい会では、演歌などに振り付けて踊る新舞踊や古典舞踊を中心に、各地区で月1〜2回の稽古を実施。年1回開催している舞踊おさらい会や市の総合文化祭で踊りを披露しています。会の設立時から長年指導を続けてこられた前代表から、8年前に代表を引き継いだ畑中さん。「先代の教えを守り、伝えていくことが私の使命」と意気込みを語り、「踊りでみんなに元気を与え、見ていただく人に楽しんでもらいたいです」と笑顔をみせます。

「会員たちと苦心を重ねて作品仕上げ、発表の場で披露できることがうれしく、生きがいになっています」。「多くの人に助けられながらこれまでやってこれました」と感謝の気持ちを口にされる畑中さん。「今後も会員同士で力を合わせて会を盛り上げ、体力が続く限り、みんなで大好きな踊りを続けていくことが目標です」同会では、11月30日(金)に旭座(白鬚)で舞踊おさらい会の開催を予定しています。「皆さまのお越しをお待ちしております」と明るく話してくれました。



やよい会 代表
 はたなか のりこ
畑中 紀子 さん
 (77歳・湯岡)

健康 生活のたびら

ご存知ですか？

循環器内科

循環器内科って？

血液の循環に関係する臓器(心臓、大動脈、末梢動脈、静脈、肺動脈)におきる病気を扱う内科のことを「循環器内科」といいます。狭心症、心筋梗塞、弁膜症、心筋症、心不全、不整脈などの各種心臓病のほか、動脈・静脈に関する病気の診断・治療も行っています。

循環器の病気は、緊急性の高いものが多いのが特徴です。特に急性心筋梗塞や、重症の不整脈、解離性大動脈瘤、肺塞栓などでは最初の数時間以内の適切な初期治療の有無が生死を分けま

どんな病気の治療をするの？

代表的な病気に虚血性心疾患(狭心症・心筋梗塞)があります。これは心臓の筋肉に酸素と栄養を送る血管(冠動脈)に障害がおき、十分な血流が流れなくなる病気を指します。これらの治療として「薬物治療」「カテーテルによる治療」「外科的治療」があります。薬物治療には血管拡張薬や抗血小板剤、降圧剤などが用いられます。カテーテルによる治療は、手や太ももの付け



循環器内科
 あまや なおき
天谷 直貴 医師

杉田玄白記念 公立小浜病院
 ■問い合わせ 52・0990

根の動脈から先端に風船のついたカテーテルを狭くなった冠動脈の病変部まで挿入し、内側より拡張する方法です。さらに、そこが再度狭くならないように金網でできた筒状のチューブ(ス TENT)を血管の中に入れるなどします。外科的な治療とは、冠動脈バイパス手術になります。また、動脈硬化の進展の要因となる高血圧・高脂血症や糖尿病もあわせて治療を行います。肺が早くなる不整脈に関しては、カテーテルを用いて不整脈の原因となっている病的な心筋を50〜60度に焼灼(アブレーション)することで、不整脈を根治させることが可能です。一方、脈が遅くなる不整脈(徐脈性不整脈)については、ペースメーカーの植え込み手術による治療になります。胸痛・動悸・ふらつき・呼吸困難・歩行時の下肢痛などの症状がある人は気軽に循環器内科外来を受診してください。